

# FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよく読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



# CDX-MP30X



# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

## 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

## 定期的に点検する

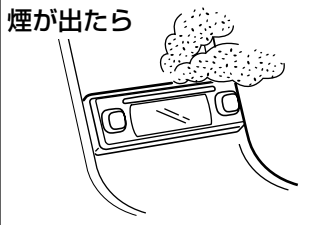
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電



指挟み

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

# 目次

⚠ 警告・⚠ 注意 .....	4
CDについて .....	6
MP3について .....	8
はじめに .....	10
まず、本機をリセットする .....	10
CD・ラジオの聞きかた .....	12
各部のなまえ .....	14
カードリモコンの操作 .....	16
時計を合わせる .....	18

---

## CD/MP3・MD

CD/MP3、MDを聞く .....	19
繰り返し聞く （リピート再生） .....	23
曲順を変えて聞く （シャッフル再生） .....	24
ディスクに名前をつける （カスタムファイル —ディスクメモ） .....	25
ディスクを名前で探す （リスト） .....	27

---

## ラジオ

放送局を自動で登録する .....	28
放送局を手動で登録する .....	30
放送局に名前をつける （ステーションメモ） .....	31
放送局を名前で探す （リスト） .....	33

---

## サウンドの設定

快適な音で聞く （MBP） .....	34
重低音を強調する （D-BASS） .....	35
音のバランスや音質を設定する （バス）（トレブル）（バランス） （フェーダー）（ATT） .....	36

---

## その他の操作

音や表示などの設定を換える .....	38
ロータリーコマンド（別売り）の 操作 .....	39
使用上のご注意 .....	42
故障かな? .....	44
保証書とアフターサービス .....	48
主な仕様 .....	49
索引 .....	51

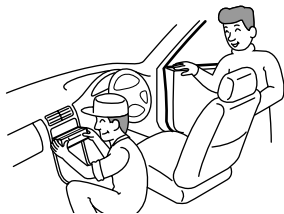


下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

### 取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

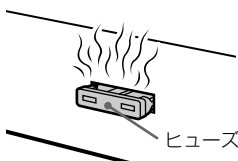


### 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止

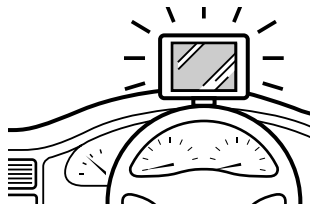


### 前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



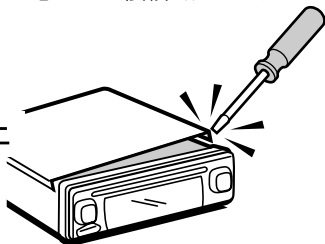
### 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

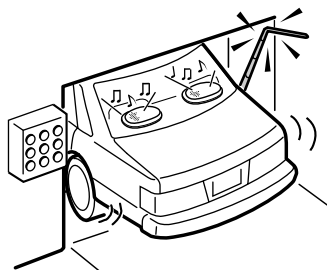
ACCポジションのないお車のときはOFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

### アンテナの高さより低い場所（駐車場や洗車機など）へ入るときはラジオを止める

ラジオの動作中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



禁止



## CDについて

### CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れないように持つ



禁止



ディスクに紙などを貼らない。  
キズをつけない。

### こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。
- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。

次のような故障の原因となることがあります。

- ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
- 高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音飛びがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特異な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

### 8cmCDについて

本機では、8cmCDの再生はできません。8cmCDアダプターも故障の原因となりますので、使用しないでください。

## 保存

ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。



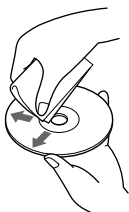
特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。

## お手入れ

演奏する前に、演奏面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。







ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



## CD-R/CD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集された下表にあるCD-R (レコーダブル) およびCD-RW (リライタブル) ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。

オーディオCD		
MP3ファイル		
		

- ファイナライズ処理 (通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理) をしていないCD-R/CD-RWは再生できません。
- 本機はCD-ROM、CD-R、CD-RWに含まれるMP3ファイルを再生することができます。
- セッションの追加が可能なCD-R/CD-RWも再生できます。

# MP3について

MP3 (MPEG1 Audio Layer3の略) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮します。

人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

## ディスクについてのご注意

本機はMP3形式のCD-ROMあるいはお客様が編集されたCD-R (レコーダブル)、CD-RW (リライタブル) ディスクを再生することができます。

ディスクはISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo準拠でフォーマットされたものが再生可能です。

本機ではマルチセッション対応で記録したディスク (CD-ExtraやMixed CDなど) もご使用になれます。

## ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際標準です。

ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：ファイル名は8.3形式 (名前は半角英文大文字と半角数字、“\_”で8文字以下、拡張子は3文字)。

フォルダーは名前が8文字以下で、階層は8つ以下。

レベル2：ファイル名は最大半角31文字 (区切り文字、“.”と拡張子を含む)。フォルダーは名前が半角31文字以下で、階層は8つ以下。

## 拡張フォーマット

Joliet：ファイル名、フォルダー名は最大で64文字。

Romeo：ファイル名、フォルダー名は最大で半角128文字。

## マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる「トラック・アット・ワンス」を採用した記録方式です。

従来のCDでは、制御部のリード・インでスタートし、リード・アウトで終了します。

マルチセッション対応CDは各セグメントがひとつのセッションのように機能し、各セグメントにリード・インとリード・アウトがあります。

CD-Extra：セッション1のトラックに音声 (オーディオCDデータ) を、セッション2のトラックにデータを記録するフォーマット。

Mixed CD：1つのセッション内のトラック1にデータを、トラック2以降に音声 (オーディオCDデータ) を記録するフォーマット。

## ご注意

- ファイル名、フォルダー名はISO9660のレベル1、レベル2に準拠していないと、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後に拡張子「.MP3」を付けてください。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」を付けると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- 次のようなディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。
  - 多くの階層や複雑な構成で記録したディスク
  - マルチセッションで記録したディスク
  - セッションの追加が可能なディスク
- 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイル再生時には、音とびする場合があります。

## マルチセッションで記録したディスクを再生する場合のご注意

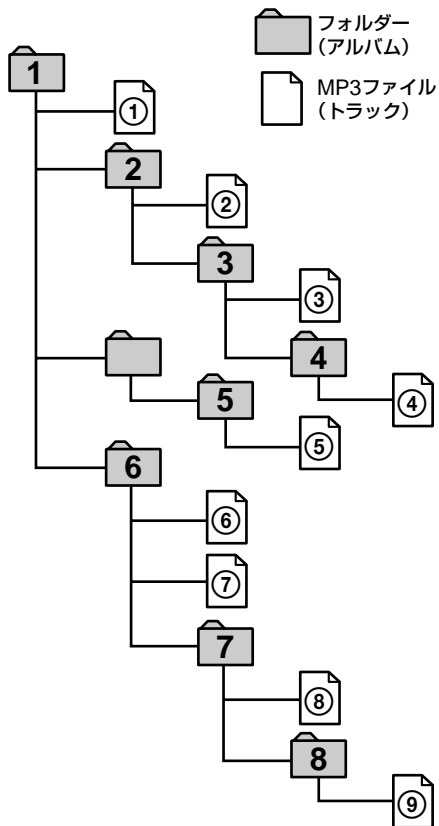
マルチセッションで記録したディスクでは、すべてのデータが再生されないことがあります。

- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータの場合：
  - オーディオCDデータは通常に再生し、その他のデータは無音で再生します。(MP3ファイルは再生されません。)
- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータでない場合：
  - ディスク内にMP3ファイルがあれば、MP3のみ再生し、オーディオCDデータを含むその他のデータはとばします。
  - ディスク内にMP3ファイルがなければ、「NO MUSIC」と表示し、オーディオCDデータを含むすべてのデータが再生されません。



## MP3ファイルの再生順序

フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次の通りです。



第1階層 第2階層 第3階層 第4階層 第5階層  
(ルート)

## ご注意

- MP3ファイルを含まないフォルダーは無視します。
- ディスクに含まれるフォルダーは150個までです。(ルートフォルダー、ファイルのっていないフォルダーも含みます。)
- ディスクに含まれるMP3ファイル、フォルダーは合わせて最大300個までです。ファイル名、フォルダー名の文字数が多い場合は、300個以下になることがあります。
- 最大8階層まで再生できます。

## ちょっと一言

同一階層内のフォルダーやファイルはライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。一般的には名前数字・アルファベット順に書き込まれるため、フォルダー名・ファイル名のはじめに数字(01、02など)をつけることで再生順序を指定できることがあります。

あなたが「放送やレコード、録音物、録画物、実演などを」録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

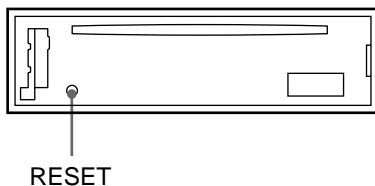
# はじめに

- 本機はCDとMP3、ラジオに対応。  
CD：音楽用CD/音楽用CD-R/音楽用CD-RW/CD TEXT  
MP3ファイル：CD-ROM/CD-R/CD-RW (ISO9660レベル1/レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録している)、マルチセッション対応  
ラジオ：FM/AM
- 前後、左右のスピーカーバランスを調節することにより、快適な音空間を実現するMBP（マイベストサウンドポジション）機能搭載。
- クリアで力強い低音をスイッチひとつで増強できるD-BASS（ダイナミックベース）機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー（別売り）に対応。

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、付属のカードリモコンおよび別売りのソニー製ロータリーコマンダー、ソニー製CD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

## まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、RESETボタンを押す必要があります。まずフロントパネルを取り外し、RESETボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



### ご注意

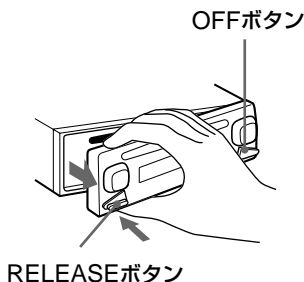
- RESETボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- RESETボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にCDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はCDを入れないでください。
- RESETボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、M.DSPL（モーションディスプレイ）をOFFにしてください。（38ページ）

## フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。

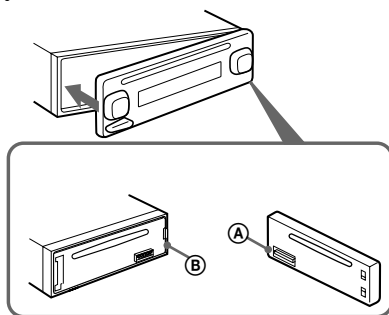
### 取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、RELEASEボタンを押してください。フロントパネルをまっすぐに引いて外してください。



### 取り付けかた

フロントパネルの④部分と本体の③部分を合わせて、ロックされるまで押し込んでください。



### ⚠ 注意

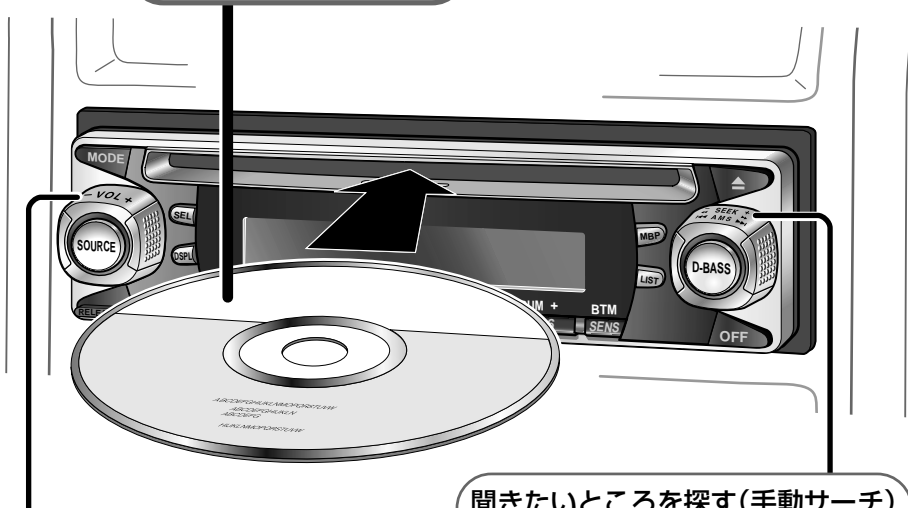
- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓を押したり、強い力をあたえないでください。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース(付属)に入れてください。

# CD・ラジオの聞きかた

## CDを聞く

### CDを入れる

ラベル面を上にして入れます。  
自動的に再生が始まります。



### 音量を調節する

ディスクが入っているときは  
SOURCEボタンを押して「CD」表示にする  
と再生が始まります。

表示を切り換えるには  
DSPボタンを押します。

止める／電源を切るには  
OFFボタンを押します。

CDを取り出すには  
▲ボタンを押します。

### 聞きたいところを探す(手動サーチ)

SEEK/AMSダイヤルを回し続け、聞きたい  
ところで離します。

前に戻す



先に進める

### 曲の頭出しをする (自動選曲センサー(AMS))

再生したい曲番号が表示されるまでSEEK/  
AMSダイヤルを短く回します。

曲の頭や前  
の曲へ戻す



次の曲へ進む

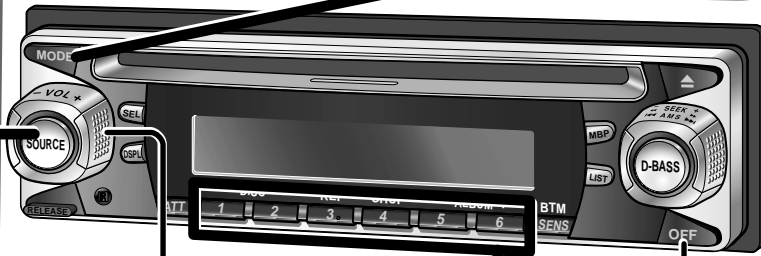
本機では、8cmCDの再生はできません。  
8cmCDアダプターも故障の原因となります  
ので、使用しないでください。

# ラジオを聞く

## 1 ラジオ受信にする

## 2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1 → AM2  
と切り換わります。



音量を調節する

電源を切る

### 自動選局で受信する(自動選局)

SEEK/AMSダイヤルを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く回します。

前の放送局  
を探す



次の放送局  
を探す

### 希望の放送局を受信する(手動選局)

SEEK/AMSダイヤルを回し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

低い周波数の  
放送局を探す



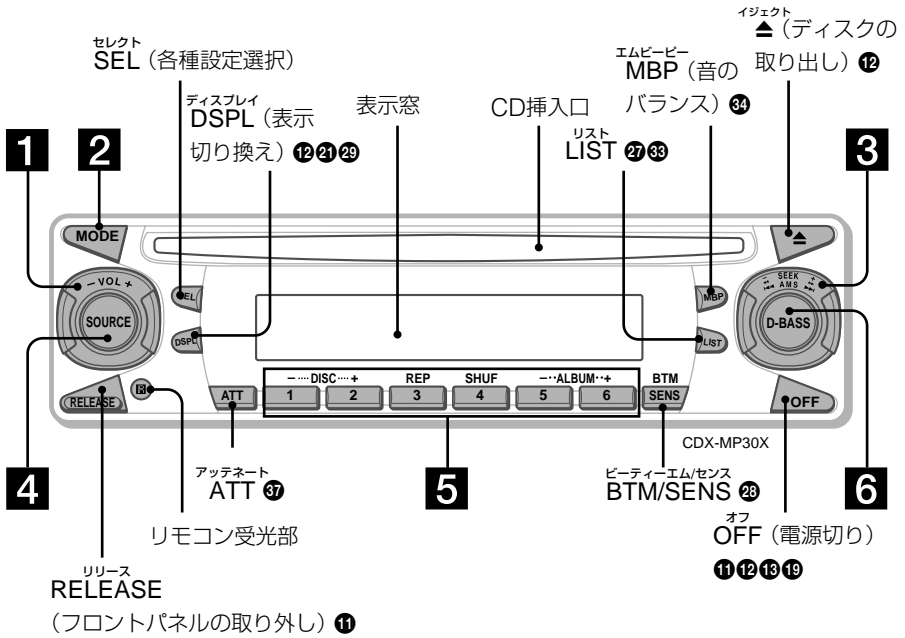
高い周波数の  
放送局を探す

## 3 聞きたい放送局を選ぶ

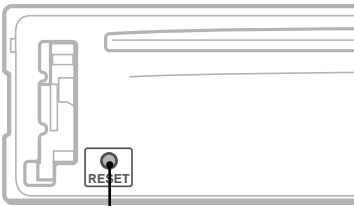
放送局を登録してあるときに選ぶことができます。  
くわしくは28~30ページをご覧ください。

# 各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



## フロントパネルの内側



**1** ボリューム  
VOLダイヤル (音量調節)**2** モード  
MODE

ラジオ	FM1/FM2/AM1/AM2の 切り換え 18 28 30
-----	-----------------------------------

CD/MD*1	CD/MD機器の切り換え 19 20
---------	-----------------------

**3** SEEK/AMSダイヤル (ラジオ選局/設定  
項目の選択)

	(A)	(B)
ラジオ	周波数の低い 放送局へ (回し続ける)	周波数の高い 放送局へ (回し続ける)
CD/MD	早戻し (回し続ける)	早送り (回し続ける)

**4** ソース  
SOURCEボタン (ラジオ/CD/MD切り  
換え)**5** 数字 (1~6) ボタン

ラジオ	放送局の登録/選択 28 30
-----	--------------------

CD/MD	1: DISC -ボタン*1 20 2: DISC +ボタン*1 20 3: REPボタン 23 4: SHUFボタン 24 5: ALBUM -ボタン*2 20 6: ALBUM +ボタン*2 20
-------	---

**6** D-BASSボタン (D-BASSの選択) 35

\*1 別売りの機器が接続されているとき

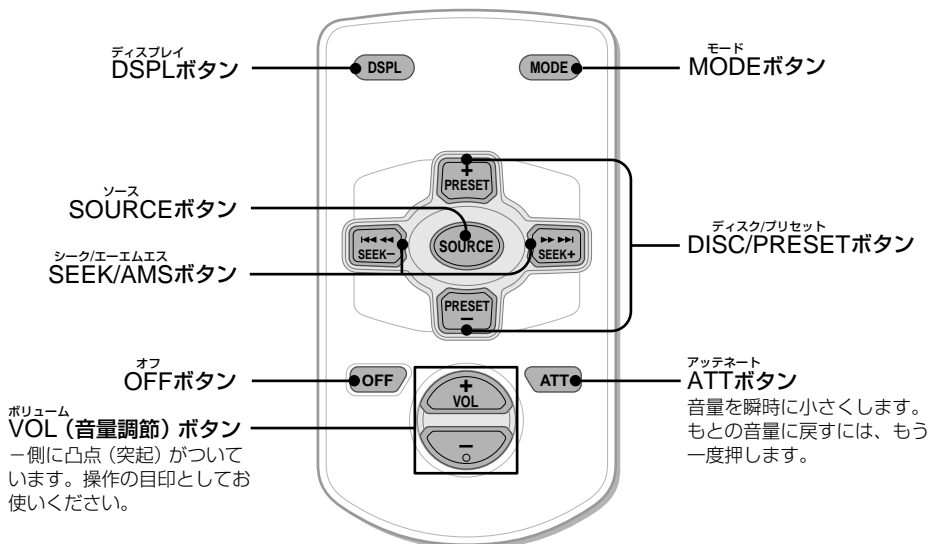
\*2 MP3再生時のみ

ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

# カードリモコンの操作

本体のボタンと同じ操作は、カードリモコンで行うことができます。

安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。



RM-X115



## ディスクやアルバムを選ぶには

カードリモコンのPRESET+/-ボタンでディスクやアルバムを選ぶことができます。

### 本機でCDを再生している場合は (別売りのCD機器を接続していない場合)

MP3再生時に、PRESET+/-ボタンを押して再生したいアルバムを選びます。  
押し続けると連続して送れます。  
(通常の音楽CD再生時は動作しません。)

### 別売りのソニー製CD/MDチェンジャー でCDまたはMDを再生している場合は

- PRESET+/-ボタンを押すと、チェンジャー内のディスクを選ぶことができます。  
ボタンを離してから1秒以内に再びボタンを押し、押し続けると連続して送れます。
- MP3再生時に、PRESET+/-ボタンを押し続けると、再生中のディスク内のアルバムを選ぶことができます。  
ボタンを離してから1秒以内に再びボタンを押すと、1つずつ送れます。

## 連続して曲の頭出し(自動選曲センサー(AMS))をするには

SEEK/AMS+/-ボタンを押すと、前の曲や次の曲に押した数だけスキップします。連続して送るには、ボタンを離してから1秒以内に再びボタンを押し、そのまま押し続けて聞きたい曲番号になったところで離します。

### ご注意

本体またはカードリモコンのOFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってからお使いください。

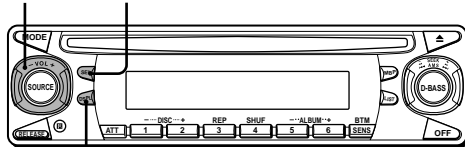
### ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(43ページ)をご覧ください。

# 時計を合わせる

本機は12時間表示です。

VOL  
ダイヤル SEL



DSPL

## 1 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。

「時」表示が点滅します。



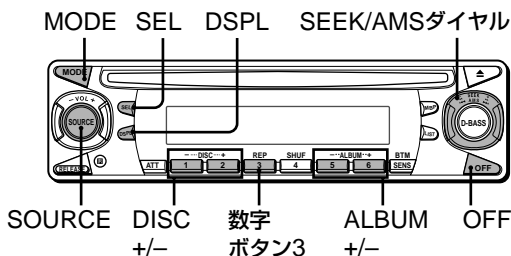
- 1 VOLダイヤルを回して「時」を合わせる。
- 2 SELボタンを押す。  
「分」表示が点滅します。
- 3 VOLダイヤルを回して「分」を合わせる。

## 2 DSPLボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

# CD/MP3、MDを聞く

本機の他に別売りのソニー製CD/MD機器を接続して、CDやMDを再生できます。本機またはCD TEXT対応のCD機器にてCD TEXTディスクを再生中に、その文字情報（アルバム名、アーティスト名、曲名など）を表示することができます。



## CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

- \*1 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されていて、チェンジャー内のディスクを再生中の場合のみ表示します。
- \*2 MP3再生時のみ表示します。
- \*3 別売りのソニー製CD/MD機器が接続されている場合のみ表示します。
- \*4 MP3とCD TEXT、MD再生時のみ表示します。

## ご注意

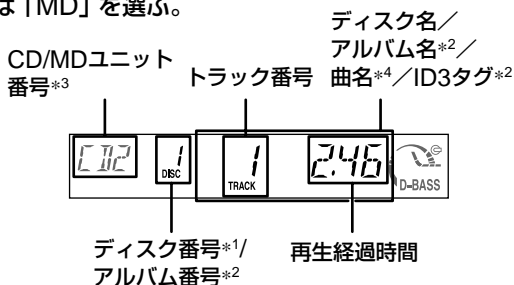
MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。

## ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。別売りのCD/MD機器を接続している場合は、同じソースのCD/MD機器内の次のディスクを再生します。

## 聞きたい機器を選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。



- 2 再生中にMODEボタンを繰り返し押して、聞きたいCD/MD機器（本機または別売りのソニー製CD/MD機器）を選ぶ。

### CDの場合

CD1（本機）→ CD2（CD機器1）\*3 → CD3（CD機器2）\*3

### MDの場合\*3

MD1（MD機器1）→ MD2（MD機器2）→ MD3（MD機器3）

## 再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

## CD/MP3、MDを聞く (つづき)

### CD/MDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶには

CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中に  
DISC- (数字1) ボタンまたはDISC+ (数字2)  
ボタンを押す。

押すたびに、前のディスクまたは次のディスクに1枚ずつ切り換わります。

### 聞きたいアルバムを選ぶには

(MP3再生時のみ)

聞きたいアルバムの入ったディスクを再生中に、  
ALBUM- (数字5) ボタンまたはALBUM+ (数字6)  
ボタンを押す。

押すたびに、前のアルバムまたは次のアルバムに1つずつ切り換わります。

### 聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEK/AMSダイヤルを短く回す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

### 曲の聞きたいところにするには

再生中にSEEK/AMSダイヤルを回し続けて、聞きたいところで離す。

ディスクの先頭または終わりに来ると

「LLLL」または「TTTT」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

### MG-MSシステムアッププレーヤー MGS-X1 (別売り) を再生するには

SOURCEボタンを押して「MS」または「MD\*」  
を選ぶ。

「MS」の場合

MGS-X1の再生が始まります。

「MD」の場合

MODEボタンを繰り返し押して「MS」を選びます。

例) MGS-X1をソースセクター (別売り) の入力端子2に接続した場合、MODEボタンを押すごとに表示は次のように切り換わります。

MD1 (MD機器1) → MS (MGS-X1) →

MD3 (MD機器2) → . . . → MD1

\* 本機はMGS-X1を「MD」として認識します。

### ちょっと一言

- 本機ではMDやCD TEXTに記録されているディスク／アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字、記号のみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみ入力されたMDを再生した場合は「NO NAME」と表示されます。
- CD TEXTに記録されていても、曲ごとのアーティスト名は表示されません。
- 「オートスクロールの設定」(22ページ)で「A.SCR-LON」にしておくと、ディスクやアルバム、曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。
- MP3のID3タグは「曲名/アーティスト名/アルバム名」と順に表示します。

### ご注意

- CDチェンジャー内のCDの曲名を表示することができるのは、MP3対応機器でMP3ファイル再生時、またはCD TEXT対応機種でCD TEXTディスク再生時のみです。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。
- MP3再生時、次の場合には再生経過時間表示が実際と異なることがあります。
  - VBR (Variable Bit Rate) : 可変ビットレート)のMP3ファイルを再生したとき
  - 早送り、早戻し(手動サーチ)をしたとき

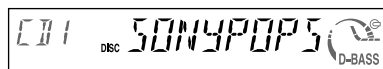
## 表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

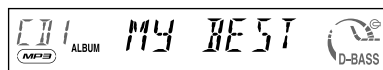
### CDの再生の場合



曲番号と再生経過時間



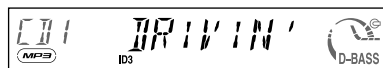
ディスク名/アーティスト名\*1\*2



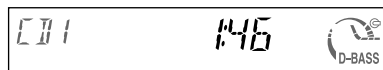
アルバム名\*1 (MP3のみ)



曲名\*1 (CD TEXT、MP3、MDのみ)



ID3タグ\*3 (MP3のみ)



時計

\*1 ディスク名、アルバム名、曲名がないときは、「NO NAME」と表示された後、再生経過時間表示になります。

\*2 CD TEXTにディスクメモ機能で名前をつけてあるときは、ディスクメモ (25ページ) の名前を表示します。

\*3 ID3タグがないときは、「NO ID3」と表示された後、再生経過時間表示になります。

ID3タグはver. 1にのみ対応しています。

表示可能な文字コードはASCIIと半角カナ (JolietフォーマットのときはASCIIのみ) で、それ以外の文字は「\*」で表示します。

ID3タグの曲名/アーティスト名/アルバム名を表示します。

## CD/MP3、MDを聞く (つづき)

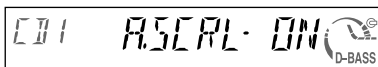
### ご注意

- スクロールするのはDSPLボタンで選んだ表示のみです。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、全ての文字を表示しなかったり、スクロールしないことがあります。

### オートスクロールの設定

MP3、CD TEXT対応のCDまたはMDを再生している場合は、ディスク、アルバムまたは曲が切り換わったとき、SOURCEをCDまたはMDにしたときに、この設定を「ON」にしておくと9文字以上のディスク名、アルバム名、曲名およびID3タグを自動的にスクロール表示させることができます。

CDまたはMDの再生中にSELボタンと数字ボタン3を同時に押す。



約2秒後に、通常の画面が表示されます。

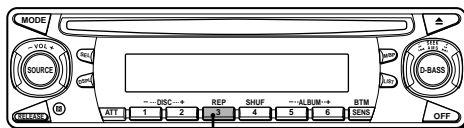
オートスクロールを解除するには

SELボタンと数字ボタン3を同時に押します。

# 繰り返し聞く

(リピート再生)

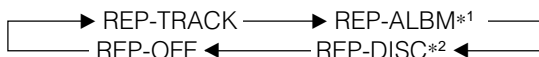
再生中の曲のみ、アルバム内の全曲またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



REP

CDまたはMDを再生中にREPボタンを繰り返し押し  
て、再生モードを選ぶ。

REPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わりま  
す。



- 1曲のみ繰り返し ..... 「REP-TRACK」にする。
- 再生しているアルバムを繰り返し  
..... 「REP-ALBM」\*1にする。
- 再生しているディスクを繰り返し  
..... 「REP-DISC」\*2にする。

\*1 MP3ファイル再生時のみ表示されます。

\*2 ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

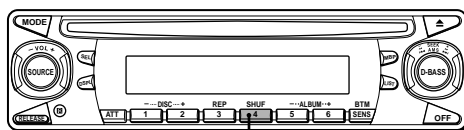
リピート再生をやめるには

REPボタンを押して「REP-OFF」を選びます。

# 曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のアルバム内の全曲、ディスク内の全曲またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。



SHUF

## ご注意

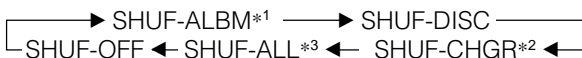
「SHUF-ALL」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

## ちょっと一言

「SHUF-CHGR」、  
「SHUF-ALL」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

CDまたはMDの再生中にSHUFボタンを繰り返し押し、再生モードを選ぶ。

SHUFボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生しているアルバム内の全曲を順不同に再生するには  
..... 「SHUF-ALBM」\*1にする。
- 再生しているディスクの全曲を順不同に再生するには  
..... 「SHUF-DISC」にする。
- 再生しているチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生するには ..... 「SHUF-CHGR」\*2にする。
- 再生しているソース (CDまたはMD) のすべての機器の全ディスクを順不同に再生するには  
..... 「SHUF-ALL」\*3にする。

\*1 MP3ファイル再生時のみ表示されます。

\*2 ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

\*3 ソニー製CD/MDチェンジャーが2台以上接続時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには

SHUFボタンを押して「SHUF-OFF」選びます。

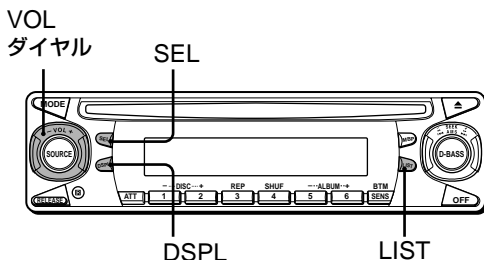


# ディスクに名前 をつける

(カスタムファイル  
—ディスクメモ)

カスタムファイルとは？

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のソニー製CDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモやリスト機能を楽しむことができます。



## ご注意

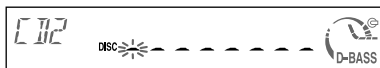
CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモ、リスト機能は操作することはできません。

## ちょっと一言

- 手順3でVOLダイヤルを回すごとに  
A ↔ B ↔ C ↔ ... Z  
↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ ... 9  
↔ + ↔ - ↔ \* ↔ /  
↔ \ ↔ > ↔ < ↔ . ↔ \_  
↔ A  
と換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字をあけたいときは、「**]**」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SELボタンを繰り返し押し続けて修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入力直します。

**1** 名前をつけたいCDを再生する。

**2** LISTボタンを2秒以上押し続ける。



**3** VOLダイヤルを回して入力する文字を選び、SELボタンを押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSELボタンを押します。

**4** 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったらLISTボタンを2秒以上押し続ける。

通常の画面が表示されます。

[次のページへつづく](#)

## ディスクに名前をつける (つづき)

### ご注意

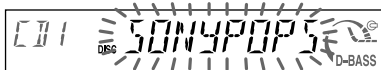
- 手順3では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

### ちょっと一言

「ディスクに名前をつける」(25ページ)の手順3で、すべての文字に「\_」を入力して名前を消すこともできます。

## 名前を消去するには

- 1 CDチェンジャー内のCDを再生中にLISTボタンを2秒以上押し続ける。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。
- 3 VOLダイヤルを回して、消去するディスクの名前を選ぶ。



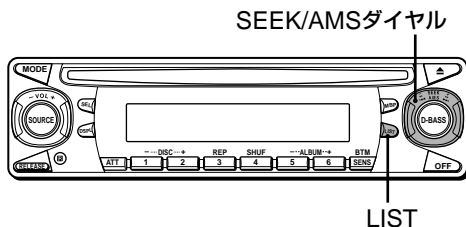
- 4 SELボタンを2秒以上押し続ける。  
選択したディスクの名前が消去されます。  
ほかのディスクの名前を消すときは手順3~4を繰り返す。
- 5 LISTボタンを2秒以上押し続ける。  
通常の画面が表示されます。

# ディスクを名前 で探す (リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのソニー製MDチェンジャーで名前  
の記録されているMDを再生する場合
- 本機または別売りのCD TEXT対応ソニー  
製CDチェンジャーでCD TEXTディスク  
を再生する場合
- 別売りのカスタムファイル対応ソニー製  
CDチェンジャーでCDを再生する場合\*

\* CDについてはディスクメモ機能 (25ページ) で  
名前をつけてからこの機能をお使いください。



## ご注意

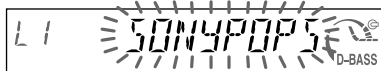
- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出る場合があります。
  - 「NO DISC」: ディスクが入っていない。
  - 「NO NAME」:
    - 名前をつけていない。
    - 本機またはCD TEXT対応の機器でCD TEXTでないCDを再生したとき。
    - CD TEXT対応の機器でCD TEXTでないCDを再生したとき。
  - 「NOT READ」: ディスク情報を読み込んでいない。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。
- ロータリーコマンダー (別売り) では操作できません。

## ちょっと一言

- 選択をキャンセルするにはLISTボタンを押します。
- 5秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。

## 1 再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



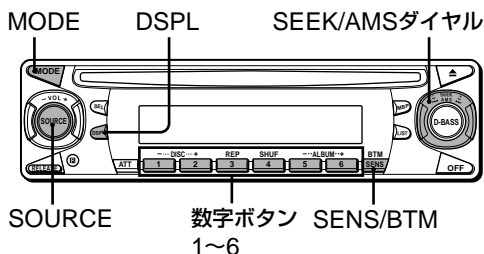
## 2 LISTボタンを繰り返し押しして、聞きたいディスク名を表示させる。

## 3 SEEK/AMSダイヤルを回す。

再生が始まります。

# 放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



## ちょっと一言

手順2でMODEボタンを押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1 →  
AM2 → FM1  
と切り換わります。

## ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

**1** SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

**2** MODEボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

**3** SENS/BTMボタンを2秒以上押す。



「BTM」（ベストチューニングメモリー）が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終ると通常の表示に戻ります。

## 登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタンを押して、聞きたい放送局を選ぶ。

## 表示窓の見かた

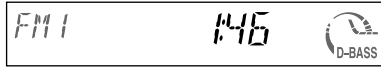
ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押し、表示を切り換えます。



周波数



放送局名\*



時計

\* 名前がついている場合のみ表示します。名前の登録のしかたについてくわしくは、31ページをご覧ください。

### ちょっと一言

SEEK/AMSダイヤルを回し続けて、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度離します。さらに繰り返し短く回していくと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。

## 旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中にSEEK/AMSダイヤルを回して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSダイヤルを回し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。ラジオ受信中にSENS/BTMボタンを繰り返し押し、**「LOCAL-ON」**を選びます。

### ふつうの受信に戻すには

SENS/BTMボタンを押して**「LOCAL-OFF」**を選びます。

## ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

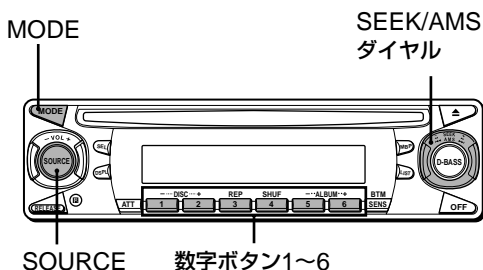
FM受信中に、SENS/BTMボタンを繰り返し押し、**「MONO-ON」**を選びます。

### ふつうの受信に戻すには

SENS/BTMボタンを繰り返し押し、**「MONO-OFF」**を選びます。

# 放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



## ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

## ちょっと一言

- 手順2でMODEボタンを押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1  
と切り換わります。
- SEEK/AMSダイヤルを回し続けて、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度離します。さらに繰り返し短く回していくと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。

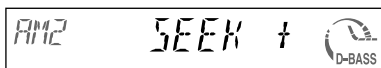
1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

2 MODEボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

3 **A** 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき  
その放送局の周波数になるまで、SEEK/AMSダイヤルを回し続ける。

**B** 聞きたい放送局の周波数がわからないとき  
SEEK/AMSダイヤルを回して離す。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。  
聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押し続ける。

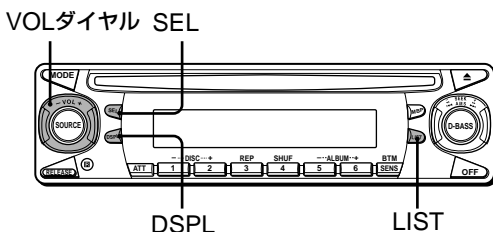


選んだ番号に受信している放送局が登録されます。

# 放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。

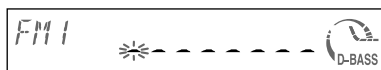


## ちょっと一言

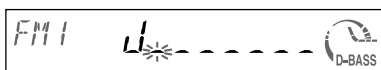
- 手順3でダイヤルを回すごとに  
A ↔ B ↔ C ↔ ... Z  
↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ ... 9  
↔ + ↔ - ↔ \* ↔ /  
↔ \ ↔ > ↔ < ↔ . ↔ \_  
↔ A  
と換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字をあげたいときは、「**\_**」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SELボタンを繰り返し押し続けて修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- メモリーがいっぱいになると「MEM FULL」と表示し、それ以上放送局名をつけることができません。

**1** 名前をつけたい放送局を受信する。

**2** LISTボタンを2秒以上押し続ける。



**3** VOLダイヤルを回して入力する文字を選び、SELボタンを押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSELボタンを押す。

**4** 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったらLISTボタンを2秒以上押し続ける。

通常の画面が表示されます。

次のページへつづく

## 放送局に名前をつける (つづき)

### ちょっと一言

- 「放送局に名前をつける」(31ページ)の手順3で、すべての文字に「\_」を入力して名前を消すこともできます。
- 放送局名がすべて消去された場合は、手順4で「NO DATA」と表示します。

## 放送局の名前を消去する

- 1 ラジオ受信中にLISTボタンを2秒以上押し続ける。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。
- 3 VOLダイヤルを回して、消去する放送局名を選ぶ。



- 4 SELボタンを2秒以上押し続ける。

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順3~4を繰り返す。

- 5 LISTボタンを2秒以上押し続ける。

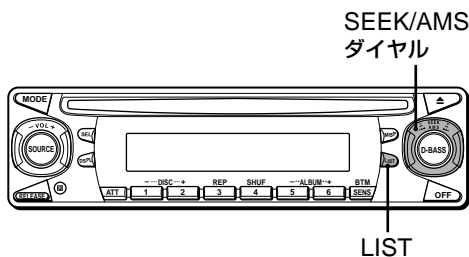
通常の画面が表示されます。



# 放送局を名前で探す

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるときは、31ページをご覧ください。



## ご注意

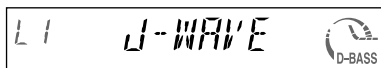
ロータリーコマンダー（別売り）では操作できません。

## ちょっと一言

- 選択をキャンセルするには LIST ボタンを押します。
- 5秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。

## 1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



## 2 LISTボタンを繰り返し押して、放送局を選ぶ。

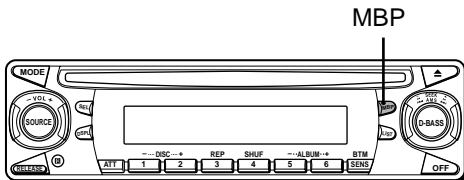
## 3 SEEK/AMSダイヤルを回す。

選局が終了すると通常の画面が表示されます。

# 快適な音で聞く (MBP)

MBP (マイベストサウンドポジション) 機能を使うと、1人でドライブするときなどに、運転席で快適な音空間を楽しむことができます。

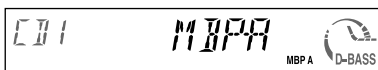
MBPには2種類の設定があり、左右スピーカーのバランスと前後スピーカーのバランスが異なります。この設定はMBPボタンで簡単に選ぶことができます。



## ご注意

- 「音のバランスや音質を設定する」(36ページ)でBAL(左右のバランス)やFAD(前後のバランス)を調節すると、MBPはOFFになります。
- MBPをOFFにすると、BALやFADで設定したバランスになります。

MBPボタンを繰り返し押し、快適な設定を選ぶ。



約1秒後に、通常の画面が表示されます。

MBPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



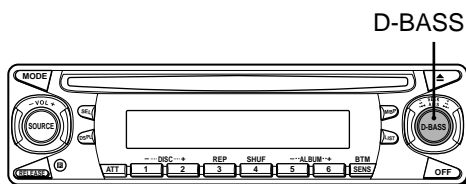
- 前座席右に快適な音空間 ..... 「MBP-A」にする。
- 前座席左に快適な音空間 ..... 「MBP-B」にする。

## MBPを解除するには

MBPボタンを押して「MBP-OFF」を選びます。

# 重低音を強調する (D-BASS)

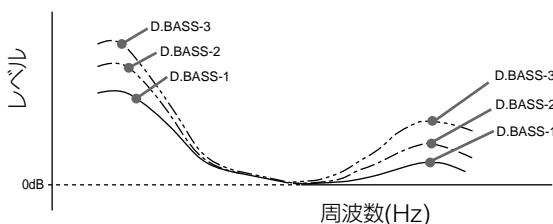
D-BASS (ダイナミックベース) 機能は低音域と高音域をシャープに増幅するため、同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。



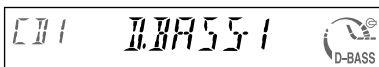
## ご注意

音量によっては音が歪むことがあります。このときはD-BASSや音量、音質を聞きやすいように調整してください。

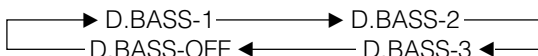
## D-BASS曲線



D-BASSボタンを繰り返し押し続けて、好みの設定に切り換える。



D-BASSボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。数字が大きいくほど低音と高音が強調されます。

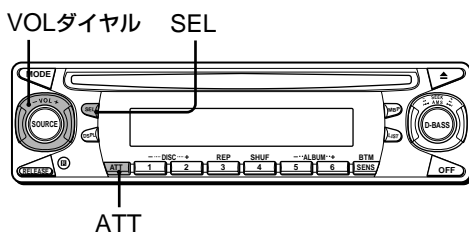


D-BASSを解除するには

D-BASSボタンを押して「D.BASS-OFF」選ぶ。

# 音のバランスや音質を設定する

(バス) (トレブル)  
(バランス) (フェーダー)  
(ATT)



## ちょっと一言

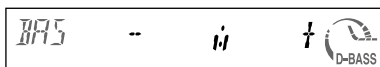
- SELボタンを押すごとに  
BAS → TRE → BAL →  
FAD  
と切り換わります。
- 3秒以上操作をしないと、  
通常の画面に戻ります。

## 出力バランス／音質を調節する

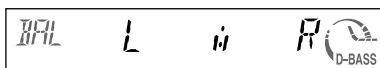
BAL (左右)、FAD (前後) のスピーカー出力のバランスを調節することができ、BAS (低音) TRE (高音) はソースごとに調節することができます。

**1** 設定するソース (CD、MD、ラジオ) を再生／受信する。

**2** SELボタンを繰り返し押して、「BAS」、  
「TRE」、「BAL」または「FAD」にする。



バス (BAS) の設定表示



バランス (BAL) の設定表示

**3** VOLダイヤルを回して、設定を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

### ちょっと一言

- ロータリーコマンダー（別売り）のATTボタンでも操作できます。
- 本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビシステムとを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。（ナビATT機能）

## 音量を瞬時に小さくする

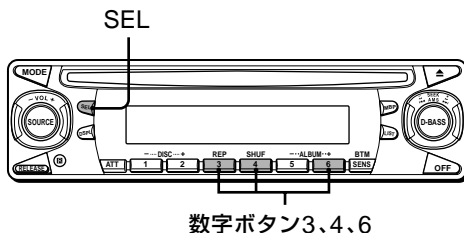
### ATTボタンを押す。

「ATT-ON」と表示され、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。

「ATT-OFF」と表示され、もとの音量に戻ります。

# 音や表示などの設定を換える



## ご注意

表示項目は選択されているソースにより異なります。

設定の種類	設定内容
「A.SCRL」*1	MDまたはCD TEXT対応のディスク再生時、表示を自動的にスクロールさせる。(22ページ)
「M.DSPL」	<p>モーションディスプレイの設定をする。</p> <p>「ON」 → 本機の電源ON時にデコレーションラインを表示し、電源OFF時にデモディスプレイを表示する。</p> <p>「OFF」 → 本機の電源ON時にデコレーションラインは表示せず、電源OFF時に時計を表示する。</p>
「BEEP」*2	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をON/OFFする。

\*1 CDまたはMDを再生中の場合のみ表示します。

\*2 内蔵パワーアンプが使用されている場合のみ、ビーブ音がありません。

## 設定を換える

SELを押しながら、希望する数字ボタンを同時に押す。

「A.SCRL」: SELボタン + 数字ボタン3

「M.DSPL」: SELボタン + 数字ボタン4

「BEEP」: SELボタン + 数字ボタン6

モード設定が完了すると、通常の画面に戻ります。

## モード設定を解除するには

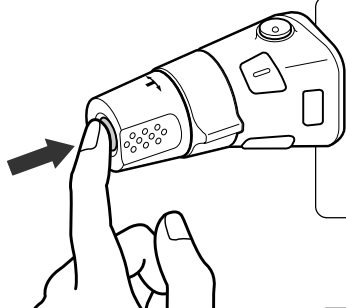
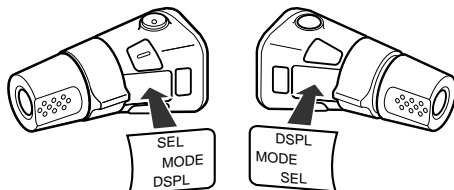
SELボタンと数字ボタンを同時に押す。

# ロータリーコマンダー（別売り）の操作

本機はロータリーコマンダー（RM-X4S）で操作できます。

## ロータリーコマンダーのシールについて

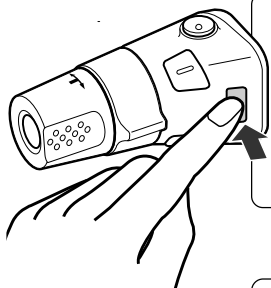
ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



### ソース SOURCEボタンを押すと

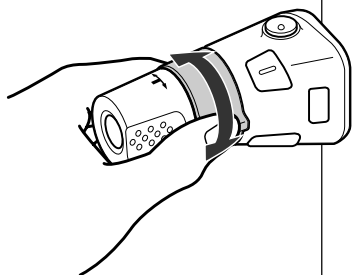
本機の電源が入り、繰り返し押すとソースがラジオ（FM/AM）→ CD → MD\*1 → ラジオと切り換わります。

\*1 別売りの機器を接続時のみ表示します。



### モード MODEボタンを押すと

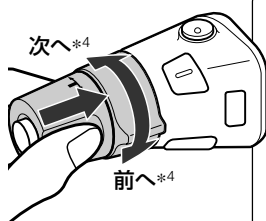
ラジオの時：FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1  
CDの時：CD1 → CD2 → …… → CD1  
MDの時：MD1 → MD2 → …… → MD1  
と切り換わります。



### シーク/エーエムエス SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

ラジオ …… 自動的に放送局を受信する  
回し続けると特定の周波数に合わせられます。  
CD/MD .. 曲の頭出しをする  
つまみを離してから1秒以内に再び回し続けると、連続して曲がスキップします。  
回し続けると早送り／早戻しになり、離すと再生に戻ります。

## ロータリーコマンドー (別売り) の操作 (つづき)



ボリューム

### VOLつまみを押しながら回すと

FM/AM ..... 登録した放送局を順に受信する

CD/MD ..... ディスクを切り換える\*<sup>2</sup>

アルバムを切り換える\*<sup>3</sup>

\*<sup>2</sup> 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されているとき。

\*<sup>3</sup> MP3再生時のみ切り換えます。

### ディスクやアルバムの切り換えかた

本機でCDを再生している場合

(別売りのCD機器を接続していない場合)

MP3再生時に、VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回して、再生したいアルバムを選びます。

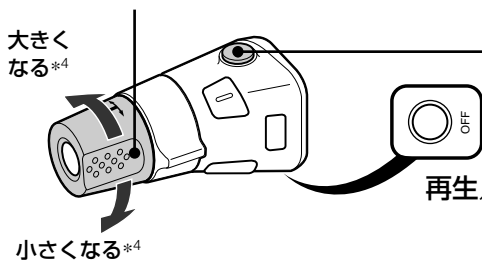
回し続けると連続して送れます。

(通常の音楽CD再生時は動作しません。)

別売りのソニー製CD/MDチェンジャーでCDまたはMDを再生している場合

- VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回すと、チェンジャー内のディスクを選ぶことができます。つまみを戻してから1秒以内に再び押しながら回すと、回し続けている間は連続して送れます。
- チェンジャー内のアルバムを選ぶには
  - ① VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回し続けると、アルバム選択モードになります。
  - ② 1秒以内に再びSEEK/AMSつまみを短く回すと、回すごとにアルバムを1つずつ送れます。

音量を調節する (ボリュームつまみを回す)



大きく  
なる\*<sup>4</sup>

小さくなる\*<sup>4</sup>

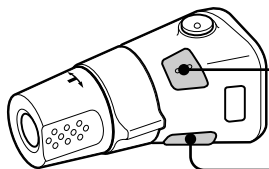
音量を瞬時に下げる (ATTボタンを押す)

解除するにはもう一度押すか、VOLつまみで音量を上げます。

再生/受信の停止 (OFFボタンを押す)

\*<sup>4</sup> 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。



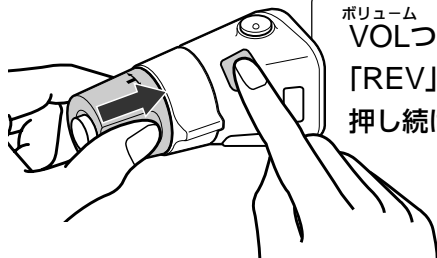


音量調節・音質選択する (SELボタンを押す)  
本体のSELボタンと同じ働きをします。

画面表示を変える (DSPLボタンを押す)  
本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

## つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。



ボリューム  
VOLつまみを押しながら、「NORM」または  
「REV」が表示されるまでSELボタンを  
押し続ける

「NORM」.... 初期設定の回転方向。

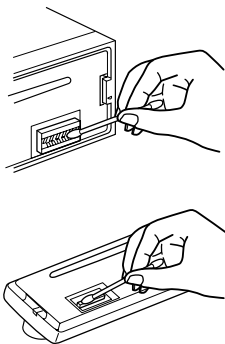
「REV」..... 運転席の右側に取り付けたときの  
回転方向。

# 使用上のご注意

## 本機の取り扱い

### コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

### 液晶表示について

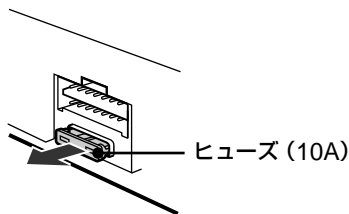
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなる場合がありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

### 本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

## ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



## 結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過後でも正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

### 表示窓の結露について

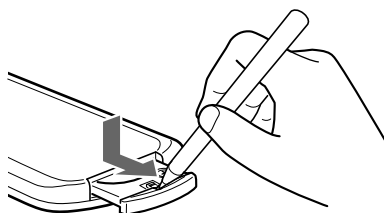
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくることがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくことで結露が取り除かれ正常に戻ります。

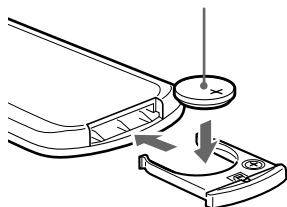
## 電池の入れかた

### カードリモコン

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



⊕を上向きにする



### 電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

### 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

#### ⚠ 警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一、電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

#### ⚠ 注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

### カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 音量を上げてください。</li><li>● ATT機能を解除してください。</li><li>● スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。</li><li>● 別売りのMDLP未対応のMDチェンジャーで長時間録音のMDを再生している。曲名表示に「LP：・・・」と出ている。 → ソニー製MDLP対応機器（MDX-66XLPなど）で再生してください。</li></ul>
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"><li>● リセットボタンを押した。</li><li>● バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。</li><li>● 電源コードが正しく接続されていない。</li></ul>
共通 ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → BEEPの設定（38ページ）を「ON」にしてください。</li><li>● 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを接続した場合は「ピッ」という音は出ません。</li></ul>
なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● OFFボタンを2秒以上押し時計表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押し続けて、時計表示を出してください。</li><li>● フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 → コネクター部をクリーニングする。（42ページ）</li></ul>
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源コードが正しく接続されていない。</li><li>● イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。</li></ul>
ノイズが出る。	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。

症状	原因・処置
電源がOFFにならない。	車のイグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →OFFボタンを2秒以上押し続けてください。
オートアンテナが上らない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
共通 ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
ロータリーコマンダー（別売り）で操作できない。	ロータリーコマンダーの接続コードが本機のリモート入力端子にしっかり接続されていない。または接続コードがはさみ込まれている。
「-----」表示が消えない。	名前入力モードに入った。 →LISTボタンを2秒以上押し続けてください。
ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すでに別のディスクが入っている。</li> <li>• ディスクを誤った向きに入れようとしている。 →ラベル（レーベル）面を上にして入れてください。</li> </ul>
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CDが汚れている。 →ディスクをクリーニングしてください。</li> <li>• ディスクが傷ついている。</li> <li>• 本機の取り付け角度が60°を越えている。</li> <li>• 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。</li> <li>• 保存状態によりCD-R/CD-RWが劣化している。</li> <li>• 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイルを再生している。</li> </ul>
CD/MD MP3ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ISO9660レベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。 →準拠しているCDを使用してください。</li> <li>• MP3ファイルに拡張子が付いていない。 →記録した機器で拡張子「.MP3」を付けてください。</li> <li>• MP3ファイル以外に拡張子「.MP3」を付けている。</li> </ul>
アルバム名、曲名、ID3タグが正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ISO9660レベル1に準拠して記録されていない。 →準拠しているCDを使用してください。</li> <li>• 本機では常に8文字までしか表示されません。</li> </ul>
アルバム名、曲名、ID3タグが「*」になる。 CD TEXTの文字が「*」になる。	本機で表示できる文字コードはASCIIと半角カナ（JolietはASCIIのみ）です。それ以外の文字は「*」と表示しません。

## 故障かな?(つづき)

症状	原因・処置	
ラジオ	受信できない、雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。</li><li>• カーアンテナとの接続を確認してください。</li><li>• オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。</li><li>• 周波数を確認してください。</li></ul>
	SEEK/AMSダイヤルを回しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「LOCAL-ON」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → 「LOCAL-OFF」にしてください。(29ページ)</li><li>• 電波が弱くて自動選局できない。 → SEEK/AMSダイヤルを回し続けて周波数を合わせてください。</li></ul>
	ステレオ放送が聞きにくい。ST表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 周波数を確認してください。</li><li>• 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください。(29ページ)</li></ul>
サウンド設定	音が出ない、または音が小さい。	左右のスピーカー出力のバランス(BAL)、フロントとリアの出力レベル(FAD)の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。 → BAL、FADを調節してください。(36ページ)

## CD/MDのエラー表示

CD機器やMD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
BLANK	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
ERROR	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
HI TEMP	周囲の温度が50°C以上になった。	50°C以下に下がってから再生する。
NO DISC	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO MAG	CD機器にディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CD機器に入れる。
NO MUSIC	本機またはMP3対応のCD機器に、音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データの記録されたディスクを入れる。
NOTREADY	MDチェンジャー (MDX-40) のフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
RESET	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

[次のページへつづく](#)

## 故障かな?(つづき)

### ID3 tag ver. 2について

ID3 tag ver.2が入っている曲を再生した場合、下記の現象が起こりますが、故障ではありません。

– ID3 tag ver.2 部分(曲頭)を読み飛ばす時は無音になります。無音時間はID3 tag ver.2の容量によって異なります。

例：64byteで約2秒(RealJukebox使用時)

– ID3 tag ver.2部分を読み飛ばすときの時間表示は不正確になります。

また、128kbps以外のビットレートの曲の場合も、再生時の時間表示が不正確になります。

– ID3 tag ver.2 はMP3変換ソフトによってMP3ファイルを作成した場合、自動的に入る場合があります。(例：RealJukebox\*)

\* RealJukeboxはリアルネットワークス社の登録商標です。

2001年12月現在

# 保証書とアフターサービス

## 保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

### 保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

### 保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

### 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。



# 主な仕様

## CDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

## チューナー部

### FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	66dB (ステレオ) 72dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.7% (ステレオ) 0.5% (モノラル)

### AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30 $\mu$ V

## アンプ部

適合インピーダンス	4~8 $\Omega$
最大出力	52W $\times$ 4 (4 $\Omega$ 負荷1kHz)

## 電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	アンテナコントロール
入力端子	ATT入力端子 (ナビ用)
本体寸法	約178 $\times$ 50 $\times$ 177mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約182 $\times$ 53 $\times$ 161mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品 (一式) カードリモコン RM-X115 (1) (リチウム電池 (1) を含む) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1) ケース (1)

[次のページへつづく](#)

## 主な仕様（つづき）

### 別売品

CDチェンジャー（10枚）  
CDX-757MXなど  
MDチェンジャー（6枚）  
MDX-66XLPなど  
MG-MSシステムアップ  
プレーヤー  
MGS-X1  
パワーアンプ  
XM-754SXなど  
ソースセクター  
XA-C30  
ロータリーコマンダー  
RM-X4S  
バスケーブル（RCAピンコード  
付属）  
RC-61（1m）、  
RC-62（2m）  
バス延長コード  
RC-U305（0.5m）  
RCAピンコード  
RC-64（2m）、  
RC-65（5m）  
電源コード RC-39

### ご注意

本機には別売りのデジタルブリアンプやイコライザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 索引

## 五十音順

### ア行

エラー表示	47
オートスクロール	22、38
音量	12~13

### カ行

カスタムファイル	25~26
----------	-------

### サ行

スクロール	21~22、38
ステーションメモ	31~32
シャッフル	24
ステレオ放送	29
スピーカーバランス	36

### タ行

ディスクメモ	25~26
登録	
自動登録	28
放送局	30
時計	18

### ナ行

名前	
消去する	26、32
つける	25、31
表示する	21、29

## 八行

バランス	36
ヒューズ	42
表示窓	
CD/MD	21
ラジオ	29
フロントパネル	11
ベストチューニングメモリー (BTM)	28
ボタンの音	38

## マ行

マイベストサウンドポジション (MBP)	34
モノラル	29

## ラ、ワ行

ラジオ	13、28~33
自動選局	29
登録	28、30
名前で探す	33
名前を消去する	32
名前をつける	31
リスト	27、33
リセット	10
リピート	23
リモコン	
カードリモコン	
.....	16~17
ロータリーコマンダー	
.....	39~41

## アルファベット順

A.SCRL	22、38
ATT	37
BAL	36
BAS	36
BEEP	38
BTM	28
CD/MP3、MD	
.....	12、19~27
名前で探す	27
名前を消去する	26
名前をつける	25
CD TEXT	19
D-BASS	35
FAD	36
ID3 tag	21
LOCAL	29
MBP	34
MDLP	19
M.DSPL	38
MONO	29
MP3	8~9、19~27
REP	23
SHUF	24
TRE	36

## ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 9:00～18:00  
(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

### ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはおお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

● Fax……………0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

<http://www.sony.co.jp/>

Sony Corporation Printed in Korea